

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 3月14日

市川市長

団体名 市川ジュニアBリーグ

（団体番号 25）

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額 1,163,209円

(2) 補助対象経費総額 513,570円

(3) 補助金交付決定額 150,000円

(4) 補助金交付概算払額 150,000円



(5) 実施報告

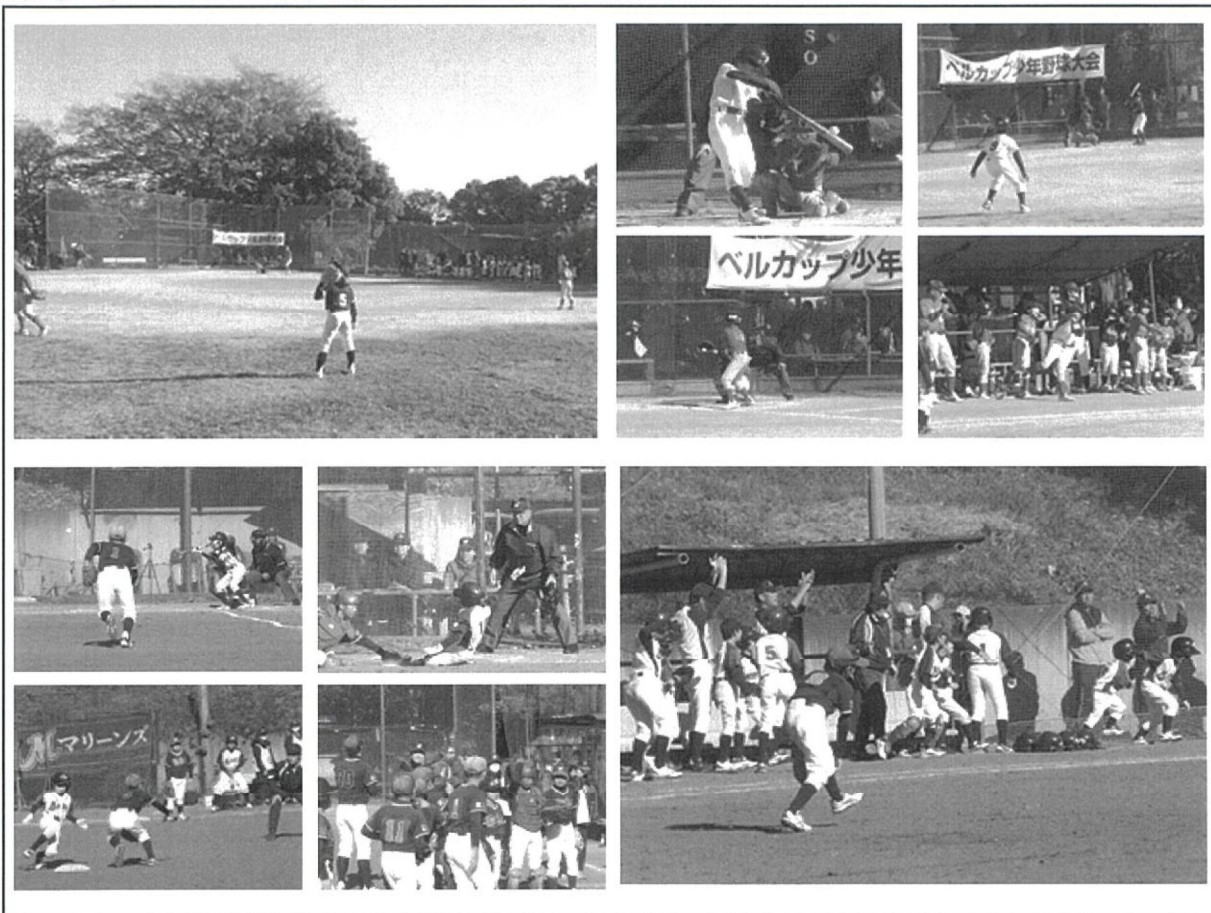
補助決定事業の名称	子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 【実施状況】令和6年度の柏井リーグは3月24日コロナ前の全チーム全員参加で元気いっぱいの入場行進でスタートしました。市川市スポーツ施設課の■■■■主幹はじめ多くの来賓を迎えて、少年野球がスタートするワクワク感いっぱいの開会式でした。そして、若葉が芽生える春が過ぎ、新緑の森が梅雨の水を蓄え、真夏の太陽が深緑の森を作り、実りを結ぶ秋を迎えるまで、毎週毎週、野球少年、野球少女たちを緑の森に囲まれた野球場へ招待できました。 9月29日ベルカップ大会がスタートしました。2か月間のベルカップ大会、子供たちは春から練習した成果を発揮し、手に汗握る熱戦が展開され、柏井の森に明るく元気な歓声が響きました。 国内では能登半島地震復興中の9月21日、能登豪雨災害があり心を痛めました。世界に目を向ければ、ウクライナ戦争は未だに停戦が見通せません。中東ガザ地区の紛争は悲惨な状況が報道され続けています。柏井少年広場で子供たちの明るく元気な姿を見るたび、平和の大切さを痛感し心を痛める年でした。 本年度の柏井リーグには26チームが加盟し、385人(うち女子選手42人)の子供たちが4から11月まで延べ171試合を楽しみました。また、ベルカップ大会には25チーム439人(うち女子選手44人)の子供たちが参加し51試合を実施しました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	市川ジュニアBリーグ(通称:柏井リーグ)のホームページにて広く市民に広報しています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 柏井リーグには26チーム、385名の子供たちが4月から11月まで楽しく野球をしました。また、ベルカップ大会には25チーム439名の子供たちが参加しました。延べ試合数は222試合(リーグ戦171試合、ベルカップ51試合)でした。市川市有数の自然豊かな森に囲まれた柏井少年広場に子供たちの歓声が響き渡りました。子供たちは指導者及び保護者と一緒に野球をする中で野球をすることが何より楽しいこと、勝った時の嬉しさ負けた時の悔しさ、チームメイトへの思い遣り、努力を継続する大切さ、最後まで諦めないことの大切さ等々を体験しました。保護者は子供との触れ合いが多くなり家族の絆が深まった幸福感を感じると共に地域で協働して子供たちを育成することの大切さを経験しました。また、清掃作業等を通してボランティア活動に対する充実感を持ち地域に愛着を感じるようになりました。 子供たちが野球を好きになり将来の夢や希望に繋がることは嬉しいことです。子供たちが礼儀、感謝、思い遣りなどの心を成長させていることは、「青少年の健全育成」という柏井リーグの活動目的が達成できた証だと思えます。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 少子化とスポーツの多様化によって野球をする子供たちが減少している現状があります。一番の問題はグラウンド環境衛生であると思います。市川市の担当各位並びに多くの方々の努力により、市川市において少年広場等のグラウンドは確保されました。しかし衛生環境、特にトイレは旧態依然であり、選手・指導者・保護者も含めて年間延べ20,000名もの参加者が集まる柏井少年広場に水洗トイレを作ることが出来ない市川市の姿勢は地域スポーツを軽視する考えであり、野球人口減少の最大の責任だと考えます。どれだけ無償のボランティア支援で少年野球人口減少に頑張ろうとも、市川市の後ろ向きな姿勢は全ての少年野球関係者にとって落胆しかありません。 近隣市のグラウンド環境を見るにつけ、市川市のスポーツ施設、特にトイレ環境の後進性は明らかです。柏井リーグのコンセプトは行政でなければ出来ないことは行政にお願いし、整備清掃等ボランティアの力で出来ることは自分たちで行う。それが地域財政への貢献であり地域への愛着を醸成する行動であると考えています。このように、保護者の意識変革もしてボランティア協力を募り、様々なグラウンド整備・清掃をして、安全安心なグラウンド作りに頑張ってきましたが、水洗トイレ一つ作れない判断には本当に落胆しました。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

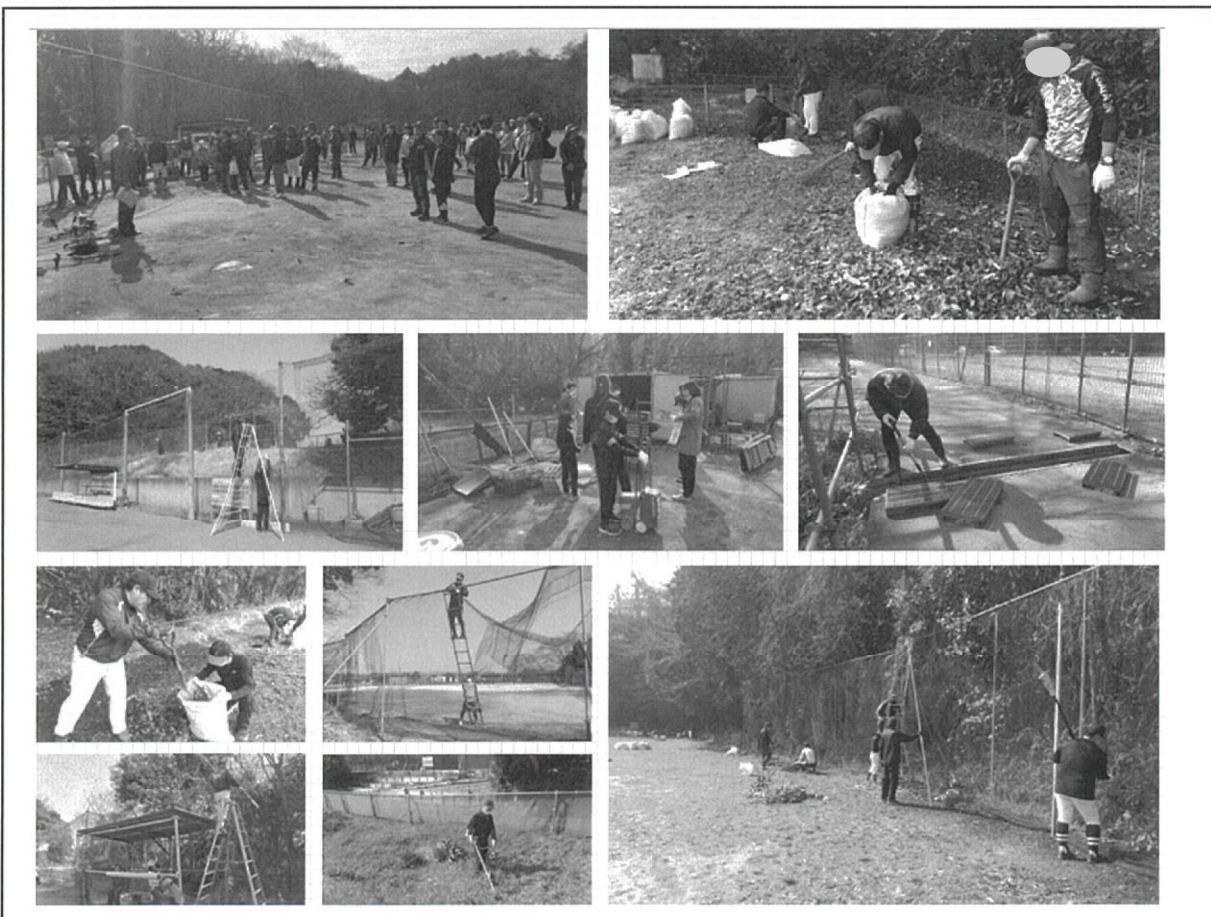
タイトル : ベルカップ大会の試合の様子

撮影年月日 : 令和6年11月24日 (ベルカップ決勝)



タイトル : グランド整備の様子

撮影年月日 : 令和6年3月17日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子どもの健全育成を図る小学校低学年野球大会の開催事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	655,000	柏井リーグ参加費1チーム15,000円×27チーム、 ベルカップ大会参加費1チーム10,000円×25チーム
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	いちサポ補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	358,209	団体の本会計より充当
合 計	1,163,209	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	320,413	0	記念品（優勝、準優勝、第三位、敢闘賞の8チーム分のトロフィー、メダル等の大会賞品）、賞状印刷、審判講習会弁当代
交通費	0	0	
消耗品費	557,306	451,000	石灰、砂・碎石、発電機ガソリン200ℓ、除草剤、審判用具、文房具等、草刈機のメンテナンス費、発電機のメンテナンス費、グラウンド整備材、防球ネット・ベンチ等の補修材料、整備道具（散水ホース等）
印刷製本費	199,600	0	案内状、会議資料、駐車券、活動報告書等の印刷費
通信運搬費	250	250	通信費
保険料	19,990	0	スポーツ保険料
使用料及び賃借料	65,650	62,320	会場使用料、AED
合 計	1,163,209	513,570	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025年 1月10日

市川市長

団体名 傾聴ボランティアサークル
「うさぎの耳」
(団体番号 2.7)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額

161,677 円

(2) 補助対象経費総額

160,837 円

(3) 補助金交付決定額

100,000 円

(4) 補助金交付概算払額

100,000 円



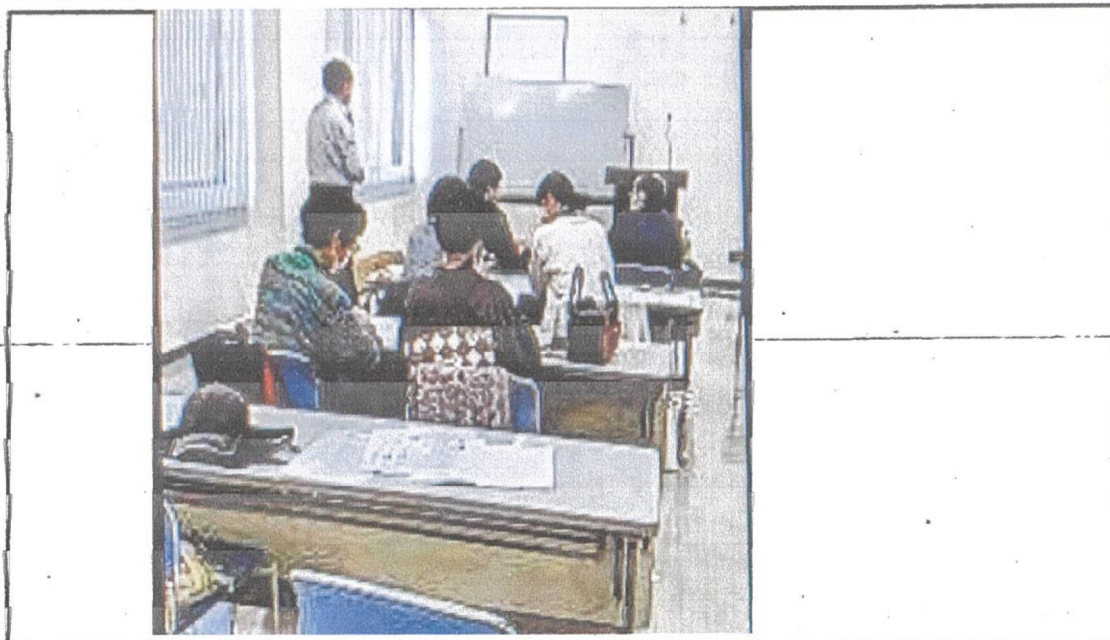
(5) 実施報告

補助決定事業の名称	傾聴ボランティア「うさぎの耳」 傾聴ボランティア養成講座
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 計画していた内容はほぼ達成できた 講座日程(5日間)講座内容なども計画通り、講座開催日に毎回「振返り用紙」を配布し、質問や感想などを書いて貰っているが、分かりやすかったなど好評だった。 但し、残念だったのは募集人員(30名)に対し、応募人員(15名)で半数だったことである。 PRの仕方、受講料金の問題など要因分析が必要と考える
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	講座の「案内シラス」を作成し、下記的手段で広報活動を実施 ○「広報いちかわ」での開催案内 ○市内の全公民館にチラシを送り、展示して貰った ○行徳新聞や市川新聞など報道機関を通じての案内 ○傾聴活動先施設へ講座案内チラシを配布 ○会員の口コミでの募集活動 できることは全てやっているつもりだが残念だ
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 高齢者が増えていく中でお話し相手を欲している方は多い、傾聴講座の問合せだけでなく、傾聴を希望する問合せも多くなっている。そんな中で「傾聴」への市民の関心度を上げる一翼をこの講座は発揮しているのではないかと思う、また講座受講後に実際の傾聴活動に携わる人が増えることを期待している。 これからも益々増えてゆく高齢者、その高齢者のための「傾聴」はこれからも重要でありその担い手育成の講座は必要と考える
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 傾聴に関する地道な理解活動の継続しかないと思う。 自分たちだけの行動には限界を感じている。 市の広報誌での「傾聴」特集を企画するなど周囲を巻き込んだ活動が必要と考える。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 講座風景01
撮影年月日: 2024. 11. 18



タイトル : 講座風景02
撮影年月日: 2024. 12. 09



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:

傾聴ボランティア養成講座

1【収入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	45,000	受講料3,000円×15人
寄附金収入	0	
補助金収入	100,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	36,259	団体の本会計より充当
補助金返金	▲19,582	
合 計	161,677	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	105,000	105,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし (21,000円×5日)
交通費	15,680	15,680	講習日スタッフ交通費(別紙参照)
消耗品費	9,627	9,627	封筒・テープ・カード・ヒモ・布・消毒液・消毒 ウェットティッシュ・コピー紙・インク・謝礼袋
印刷製本費	15,840	15,000	チラシ印刷、コピー
通信運搬費	1,510	1,510	レバック(介護事業所への送付)
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	14,020	14,020	会場使用料(3,000円×4日+2,020市民談話室)
原材料費	0	0	
合 計	161,677	160,837	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月10日

市川市長 田中 甲 様

団体名 子育て応援メッセ実行委員会

(団体番号 34)

代表者名

所在地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	494,686円
(2) 補助対象経費総額	324,997円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 今年度は、子育て応援メッセもマタニティフェスタも事前申込み不要、午前午後の入替えなし、出入り自由にしました。人数把握のため、入場時に体調アンケートを記入してもらい、来場者のお子さんの年齢や地域を把握することができました。 4月30日(火)第1回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 今年度のイベント概要、内容、レイアウト等を検討。 (参加者大人7人、スタッフ3人) 5月31日(金)第2回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) 当日の流れを検討。幼稚園紹介やネイル体験等の新しい企画、昨年好評だったプラスバンド演奏や企業とNPOコラボの手形うちわ等を決定。 (参加者大人18人、スタッフ6人) 6月24日(月)オンラインスタッフ打合せ スタッフ4人 当日の役割分担と進行の打合せ 6月28日(金)子育て応援メッセinいちかわ開催 (全日警ホール1階ホール・練習室、2階展示室・第3会議室) 大雨警報が出るくらい悪天候で、来場者数も例年の半分程度となりましたが、時間制限がなかったため、一日ゆっくり会場内を回って、満足して帰っていただけたと思います。 お子さんの年齢は、例年通り0歳児が中心ですが、2才以上の参加割合が昨年よりも多かったです。今までのように事前申込みが必要だと、大きなお子さん連れの方は申込みづらかったのではないかと思います。また、今年は1か月、2か月という小さな赤ちゃんの参加も目立ちました。LINE、チラシを見て来たという方が多かったです。 来場者のお住まいの地域は、お天候の影響もあり、会場から遠いところからの参加は少ないながらも、市内各地から来ていただきました。行徳地区の方もいて、市川・八幡の情報が中心の子育て応援メッセですが、行徳の情報についても検討する必要を感じました。 (参加者71組150人うち市内66組140人、出演関係者大人22人・子ども10人、出展者80人、スタッフ7人) 7月12日(金)第3回打合せ兼交流会開催(全日警ホール2階第3会議室) レイアウトとプログラムについて検討。こども家庭相談課は今年は妊婦体験を実施。小児科医との座談会も検討。企業ブースのみスタンプラリーを実施。 (参加者大人11人、スタッフ2人) 8月23日(金)第4回打合せ兼交流会(全日警ホール2階第2会議室) 夫婦の参加が多いので女性・男性どちらにも有益な情報を提供する工夫が必要。調乳体験のみ事前申込み、他は当日参加。その他、タイムスケジュールを検討。 (参加者大人15人、子ども2人、スタッフ5人) 9月8日(日)ハッピーマタニティフェスタ開催(全日警ホール1階ホール・練習室、2階第3会議室) 前日の天気予報は午後から雨でしたが、終日雨が降ることもなく、たくさんの妊婦さんご家族に参加していただきました。今年は、出産後1～3か月の赤ちゃんのいるご家族も来ていただけるようにお知らせを出しましたが、初産婦67組、経産婦6組、1～3か月の赤ちゃんご家族5組という結果でした。 市川市こども家庭相談課様の妊婦体験、根本産婦人科医院様・山口病院様の沐浴体験、雪印ビーンスターク様の調乳体験には、それぞれ40組以上の妊婦さんご夫婦が参加されていました。沐浴体験は多少混雑する時間帯がありましたが、他のブースを回ったあとに再度来られた方もおり、ほとんどの方に希望通り回っていただけた様子でした。 ベビーダンスインストラクターとダンサーズの皆さんによる「抱っこ紐のつけ方と寝かしつけステップ」も大好評で予定の倍以上の方に立ち見で見ていただきました。 産婦人科医と小児科医の座談会も役に立つ情報が多く、特に今年初めて取り入れた小児科のかかり方についての話は、初めて子育てされるパパ・ママにとって心強いメッセージとなりました。 (参加者78組158人[うち市内在住75組153人]、出演関係者17人、見学者3人、出展者63人、スタッフ5人) 12月18日(水)第5回ふりかえり兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) 今年度のイベント感想や今後の課題について意見を出し合い、出展内容や子育て情報誌、対象年齢等について検討。 2月のオンライン・子育て応援メッセの日程決定。産後すぐの方、里帰り中の方、妊婦さん等を対象に実施。 (参加者大人14人、スタッフ2人) 1月29日(水)第6回オンラインメッセ打合せ兼交流会開催(zoomによるオンライン開催) オンラインメッセの流れを決め、資料操作等の確認。 (参加者大人10人、スタッフ4人) 2月10日(月)9時～受付開始 2月14日(金)zoom事前練習実施(参加者3人、スタッフ2人) 2月25日(火)事務局打合せ、zoom練習(参加者1人、スタッフ3人) 2月28日(金)オンライン・子育て応援メッセinいちかわ(zoomによるオンライン開催) 妊娠中～出産後1か月の方が19組、月齢1か月～3か月が15組、3か月～6か月が13組、外出が難しい方々に情報を届けるイベントとなりました。里帰り中の方からも、帰省先で資料を見ながら市川のことを知ることができてよかったという感想をいただきました。音が出ないなどの失敗もあったので、さらなる、発信側メンバーの練習も必要だと思いますが、ほぼ合格点のオンラインイベントとなりました。 (申込者62組、関係者11人、スタッフ5人) 年間を通して、各イベントの出展団体の紹介をブログやLINEで発信し、イベントに参加できない方にも情報提供を行いました。	受益者数 (うち市民の 数) イベント 参加者 657人 (642人) 子育て情報 提供 不特定多数

広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	今年度のイベント告知は、いちかわ子育てネットワークのLINEでの発信と市川市の子育て関係窓口、産院等でのチラシ配布が中心でしたが、申込み制のものは24時間で予定数を上回るくらい反響がありました。 イベント参加人数は、天気等の影響で昨年より少なくなったものもありますが、主催者側として参加して欲しい対象の方には、昨年と同じくらいの人数に来ていただけていたのでは、広報手段としては有効だと思いました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 子育て応援メッセは悪天候の中の開催で来場者数は例年の半分くらいでしたが、事前申込みをなくしたためか、数年前に参加された方の参加や、生後1か月、2か月の赤ちゃん連れのご家族の参加もありました。参加しやすさは昨年よりもハードルが下がったと思います。 昨年アシスタントとして手伝ってくださったママさんが、今年は講師として参加してくださるなど、子育て当事者が活躍できるイベントの形も戻ってきたと思います。 マタニティフェスタは、妊婦さん向けイベントでしたが、子育て応援メッセ以上の参加がありました。産婦人科医、小児科医との座談会も好評で、初めて子育てするパパ・ママにとって心強いメッセージとなりました。 昨年の反省から、たくさんのブースを回ってもらえるように動線を工夫したところ、多少混雑する時間帯もありましたが、スムーズに会場を回っていただけたと思います。 夫婦で子育てが当たり前になってきて、出産前に男性が体験できる機会をたくさん持ちたいという声が多く、マタニティフェスタをきっかけに地域の子育て支援センターやつどいの広場に妊婦さん夫婦が足を運んでももらえるようになればいいなと思いました。 オンライン・メッセは、寒い時期のイベントとしてニーズがあり、妊婦さん、出産直後、里帰り中の方が参加されました。 年々、参加者の方がオンラインイベントに対して慣れてきているので、スタッフのもたつきが目立ってしまいましたが、自宅にいながら情報収集ができる良い機会なので、皆さんに楽しんでもらえるようレベルアップしていきたいと思います。 一年間のイベント開催を通して、子育て中の人や地域とのつながりを体感できる「子育て応援メッセ」、妊娠期を支える「マタニティフェスタ」、外出しにくい人と地域をつなげる「オンライン・子育て応援メッセ」、3つのイベントが「妊娠・出産・子育て」を継続的にサポートする流れを作っていることを実感しました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 「事前申込み不要」「時間内出入り自由」とすることによって、イベントに参加するハードルがぐっと下がったと思います。 参加者数の増減も気になりますが、対象を「妊婦さん～0才の子育て」に絞って、イベントに特徴付けていこうと思います。 参加者や出展者からの出展内容に対するリクエストはたくさんありますが、初めての妊娠・出産・子育てを迎える人たちに伝えたいことをきちんと伝えるのが大事だと思います。 また、私たちが当たり前のように使っている言葉が、初めて妊娠した人たちにとって、わからなかったり、イメージがわからないことがあります。 「参加者が受け止めやすい形で情報を提供する」ことを意識して、今後もイベント企画をしていきたいと思っております。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 子育て応援メッセinいしかわの様子

撮影年月日 : 令和6年6月28日



タイトル : ハッピーマタニティフェスタの様子

撮影年月日 : 令和6年9月8日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育て家庭・妊婦さん向けイベント開催事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	254,000	出展・冊子協賛金10,000円×21、5,000円×7、3,000円×3
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	90,686	団体の本会計より充当
補助金		市川市市民活動団体事業補助金返金
合 計	494,686	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費	90,000	90,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし 5,000円×2名、10,000円×8名
交通費	10,320	10,320	マタニティ当日駐車場代 900円 スタッフ交通費 @300円×1名、@340円×6名、@440円×6名、 @740円×6名
消耗品費	27,749	27,749	クリップ 110円、領収書 110円、 ブルーシート 1,408円、養生テープ 985円 電池・ゴミ袋・アルコールウェット 1,421円 リストバンド 3,414円 カラー厚紙 2,530円、紙袋 2,433円 スタンプ 2,824円 インク代 6,764円、5,750円
印刷製本費	71,188	71,188	配布資料印刷代 200円、130円 チラシ・当日パンフ印刷代 95円、550円 子育て情報誌印刷500部 67,980円 振込手数料 110円(補助対象外) チラシ・当日パンフ印刷代 2,153円、80円
通信運搬費	20,808	20,800	チラシ・資料等送付 メッセ 140円×9、84円×7 マタニティ 180円×2 オンラインメッセ 430円×43、110円×1
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	104,940	104,940	交流会会場 3,300円×4回 子育て応援メッセ会場費 45,810円 マタニティフェスタ会場費 45,810円
原材料費	0	0	
飲食費	1,861		スタッフ・講師用お茶19本
スタッフ費	167,820		ボランティア謝礼(クオカード9名分) 4,900円、3,920円 スタッフ活動費・ブログ掲載通信費 4,000円×1、7,000円×2、8,000円×1 14,000円×1、15,000円×2、16,000円×1 17,000円×1、18,000円×2、20,000円×1
合 計	494,686	324,997	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月17日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	65,524円
(2) 補助対象経費総額	40,380円
(3) 補助金交付決定額	25,000円
(4) 補助金交付概算払額	25,000円



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和7年3月17日

市川市長 田中 甲 様

団 体 名 特定非営利活動法人
いちかわ子育てネットワーク
(団体番号 35)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

子育てに関わる人たちのためのつながる勉強会開催事業

2 変更の内容

つながる勉強会の開催時期変更
つながる勉強会報告会を追加開催

3 変更の理由

<開催時期変更>

つながる勉強会①「子育て家庭のニーズ動向」は、山口病院様をゲストに呼び、妊婦さんのニーズ・動向や産院の取組みについて伺うことにしたところ、日程調整があわず、7～9月の予定から3月の開催に変更しました。

つながる勉強会②「支援策の実態と効果について」は、2月末の予定から1月末に変更しました。

<報告会の追加開催>

つながる勉強会の告知をしたところ、子育て中の方から平日夕方の時間帯は参加できないが、内容を後から聞くことはできないかという問合せがありました。

そこで、つながる勉強会報告会を追加開催し、希望者に資料配付と説明を行いました。

(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育てに関わる人たちのためのつながる勉強会開催事業	
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。	
	<つながる勉強会①> 「利用者支援事業」(子育てナビ・アイティ)「一時預かり事業」(育児中のリフレッシュ利用・こども誰でも通園制度)について現状をみんなで共有する 1月31日(金)18時～20時 於)全日警ホール2階第3会議室の2 ゲスト:こども部、こども家庭相談課、こども施設入園課、幼保施設管理課職員6名 各事業の内容、利用状況等をお話いただき、子育て中の人がたくさん来る地域子育て支援センターや親子つどいの広場のスタッフ等の参加者と情報交換を行う。 参加者:16名 ゲスト・市関係者6名 スタッフ2名	受益者数 (うち市民の数) 30人 (30人)
	<つながる勉強会②> 3月11日(火)18時～20時 於)全日警ホール2階第3会議室の2 西船橋駅前にある山口病院様をゲストにお呼びして、産院内の取組みや地域とのつながりについて紹介してもらう。 参加者:13名 ゲスト1名 スタッフ2名 <つながる勉強会報告会> 3月16日(日)10時30分～12時 於)北方第2公園管理事務所2階 あいにくの風雨で参加者が1人でしたが、つながる勉強会①②に参加できなかった子育て当事者に資料を配付しながら内容を説明しました。 参加者:1名 スタッフ1名	
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・いちこネットのLINEで発信 ・関係者にメールで直接お知らせを送る ・ブログ等のSNSで告知 ・地域子育て支援センター、親子つどいの広場等、子育て支援拠点に案内状送付	
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市の取組みは時代に合わせて変わってきているところもあり、現在の子育て支援施策について学べたことは、支援者にとってとても勉強になりました。 また、支援者の現場での様子も伝えることができたこともよかったです。 子育て支援策も増え、働き方・くらし方も多様化している現在、支援する側も多様なニーズに対応できるように情報収集しておく必要があると実感しました。 報告会では当事者の生の声が聞けて、支援者にとって当たり前と思われていることが、子育て当事者は知らなかったり、驚いたりすることも多く、勉強になりました。	
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 定期的に顔を合わせて情報交換することによって、つながりも深まり、何かあったときに相談しやすくなるので、このような勉強会を継続して実施していきたいと思っています。 山口病院様の資料にもありましたが、子育て家庭が孤立しないために、行政・医療等の「制度の縁」と地域の「地縁」がしっかりつながってサポートしていく重要性を改めて感じました。	

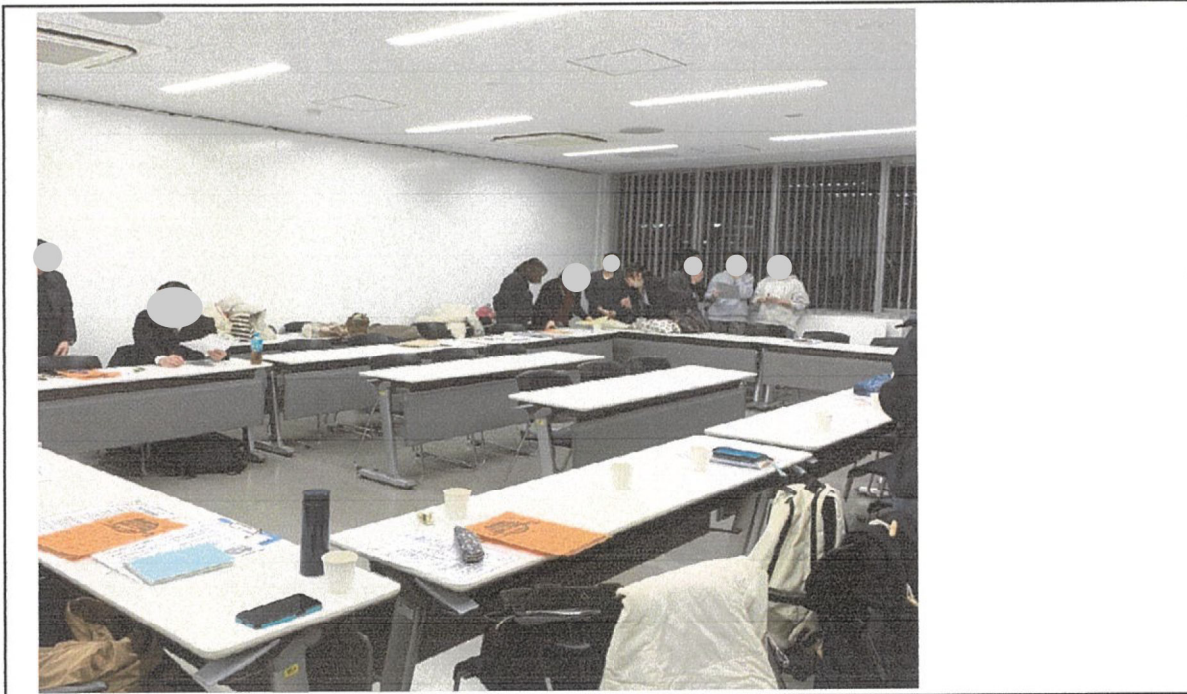
(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

つながるセミナー

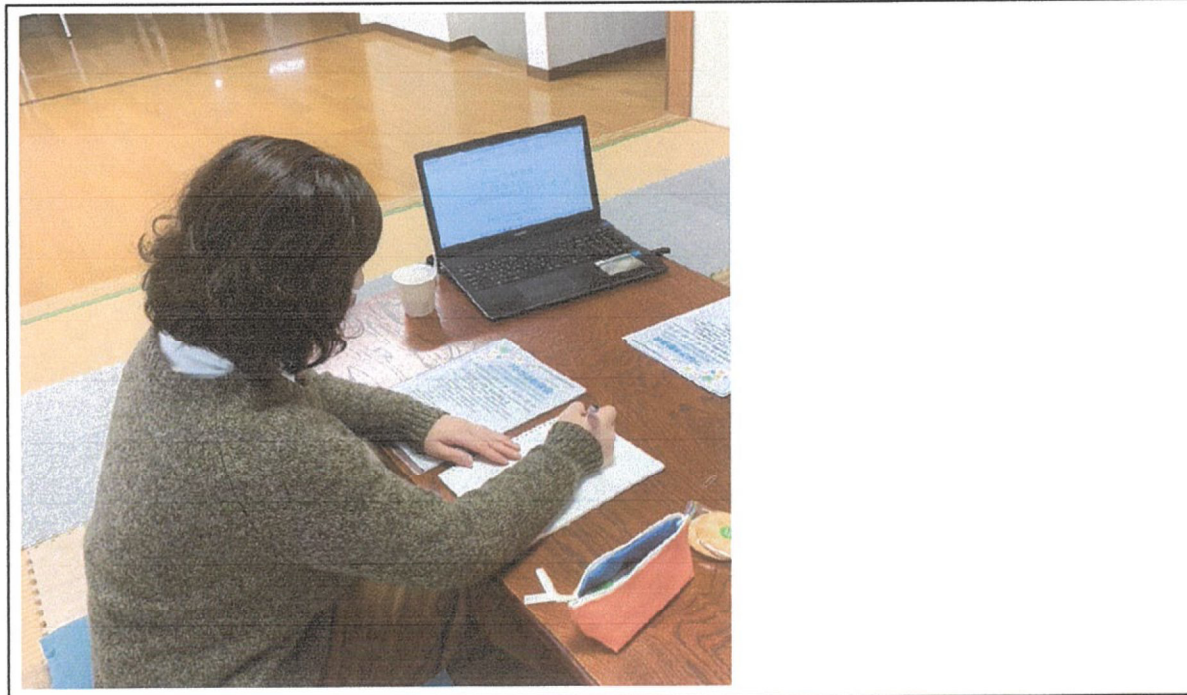
タイトル： つながる勉強会 終了後の情報交換

撮影年月日： 2025年1月31日



タイトル： つながる勉強会報告会

撮影年月日： 2024年3月16日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：子育てに関わる人たちのためのつながる勉強会開催事業

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	29,000	
寄附金収入	-	
補助金収入	25,000	
その他 （助成金等）	-	
会費充当	16,334	団体の本会計より充当
補助金	-4,810	補助金返金分
合 計	65,524	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	22,042	22,042	外部講師等の招へい <u>あり</u> なし 講師謝礼20,000円、所得税源泉徴収分2,042円
交通費	1,560	1,560	スタッフ交通費 440円×2、340円×2
消耗品費	8,163	8,018	紙コップ 220円、クリアバック 489円 インク 6,410円、コピー用紙 437円 除菌シート・ゴミ袋等消耗品 607円
印刷製本費	0	0	印刷物はプリンターを使用しました
通信運搬費	4,200	4,200	案内送付用切手代110円×11=1,210円 チラシ送付レターパック5枚 2,150円 チラシ送付用切手代 140円×6=840円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	4,560	4,560	全日警ホール@2,280円×2回（使用料減免なし）
原材料費	0	0	
飲食費	2,999		お茶・お菓子代
スタッフ費	22,000		準備・SNS告知等諸経費@3,000円×2回 勉強会進行等スタッフ費 @5,000円×2名、@3,000円×2名
合 計	65,524	40,380	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年 / 月 / 10日

市川市長 田中 甲 様

団 体 名 子育て交差点実行委員会

(団体番号 36)

代表者名

所 在 地

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	198,955円
(2) 補助対象経費総額	117,476円
(3) 補助金交付決定額	77,000円
(4) 補助金交付概算払額	77,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	子育て交差点行徳開催事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ① 8月23日(金) 打ち合わせのお知らせ作成、関係者に配布 ② 9月20日(金) 第1回打合せ兼交流会(参加者12人・スタッフ2人) 会場が行徳公民館3階の6室になるため、対象者・イベント規模等について検討 コンパススタジオ、行徳支所2階こども館前のスペースを利用することによって、対象者を限定しない方向で実施することになる 人数制限のある抱っこ紐講座と材料の必要なアルバム作り以外は、事前申込みも無しにして、参加しやすくする ミニ講座、体験ワークショップ等、工夫して例年通りの内容を実施することに決定 イベントに関わる人たちの交流を深める ③ チラシ作成、事前告知をブログ等にて発信 ④ 10月18日(金) 第2回打合せ兼交流会(参加者15人・スタッフ2人) 当日の内容・レイアウト確認 人の流れをスムーズにする方法等を検討 新しく参加される団体、出展者・講師・スタッフの情報交換 ⑤ 具体的な内容をブログ・LINE・インスタグラム等で告知 ⑥ 11月8日(金) 10時～15時30分 子育て交差点開催 参加者66組138人(うち市民65組136人) ベビーダンスダンサーズ11組26人 出展等関係者52名、見学者5名、スタッフ4名 子育て関係NPOの紹介、抱っこ紐の上手な使い方&ベビーダンス体験、離乳食講座、幼稚園紹介、身体計測、助産師相談、時短料理紹介、アルバム作り体験、資産運用講座、ママとベビーの英語遊び、足もみ体操、スカーフ・ストレッチ等 ⑦ 終了後、ふりかえりの会開催(16時～17時) 参加者18人、スタッフ2人 来場者数が少なかったが、ゆっくりと対応できた ほとんどの方が身体計測をしていた 等、出た感想を、次回の参考に ⑧ 12月18日(水) オンラインにてふりかえりの会開催 参加者14人、スタッフ2人 今年度の見直し、来年度の企画案 イベント対象を0才中心に子育て拠点紹介、身体計測等、ゆったりとした雰囲気にする 冊子作成は6月末に早め、他のイベントでも配布する 来年度は行徳文化ホールI&Iで11月21日(金)開催 受益者数 (うち市民の数) 280人 (278人)
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・ いかかわ子育てネットワークのLINEで告知 ・ 親子つどいの広場等でチラシ配布 ・ 関係者のブログ・インスタグラム等、SNSを利用して情報発信 http://ameblo.jp/ouenmesseichikawa/
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今年は行徳文化ホールI&Iが改修工事中でしたが、市川市こども部こども施策課様のご協力を得て、市と共催で行徳公民館を借りて開催することができました。 会場が狭くなるため、対象者や内容を制限することやむを得なかった状況でしたが、皆様からアイデアを出していただき、3カ所同時開催という形で、来場者を制限することなく開催できました。 生後2か月くらいの小さな赤ちゃんから1才前後のお子さんが、身長・体重を計ったり、ブースを回ってスタッフとお話したり、講座や体験を楽しんでいただきました。 英語遊びや離乳食、幼稚園紹介等、時間を区切った講座形式にしたところ、時間帯による来場者数の増減がありましたが、目的を持って来ていただけたことはよかったと思います。 平日にかかわらず、夫婦での参加も多く、男性育休が普及し、夫婦で子育てするのが当たり前になってきているのを実感しました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 初めて子育てしている人たちへの子育て情報提供、子育てに行き詰まっている人への寄り添い、子育て支援に取り組んでいる人たちのネットワークは、常に必要とされています。この事業は、それらを一度に実施することができます。 毎年継続して開催することで、新たに妊娠・出産・子育てする人たちを途切れなくサポートすることができると思います。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル：「抱っこ紐の上手な使い方」の様子

撮影年月日：令和6年11月8日



タイトル：身体計測（こども家庭センター）と助産師相談（根本産婦人科医院）の様子

撮影年月日：令和6年11月8日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 子育て交差点行徳開催事業

1【収入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	140,000	出展・冊子協賛金10,000円×11口、5,000円×6口
寄附金収入	0	
補助金収入	77,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	217	団体の本会計より充当
補助金返金	-18,262	
合 計	198,955	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	50,000	50,000	外部講師等の招へい <u>あり</u> ／なし ワークショップ等講師(材料費・交通費込み) 20,000円×1名・10,000円×3名
交通費	7,380	7,380	スタッフ交通費 @1,140円×3、 @1,040円×3、@640円×1 冊子配布時駐車場代 200円
消耗品費	16,105	16,105	布テープ 266円×2=532円・494円×2=988円 ラベルシール 1,390円、ビニルシート 798円 紙袋 1,386円・1,496円、ビニル袋 325円 シール 245円、養生テープ6本 1,770円 会員割引-104円 厚紙 817円×2=1,634円、インク 5,645円
印刷製本費	55,150	39,791	資料印刷代 150円 子育て情報誌400部印刷 54,890円 振込手数料 110円
通信運搬費	1,920	1,920	案内資料送付切手代 140円×9=1,260円 チラシ送付切手代 110円×6=660円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	7,780	2,280	(使用料減免なし) 公民館 990円×2回、抽選機 300円 (使用料減免・交差点当日) 公民館 630円・740円・660円・660円・1,010円・1,800円
原材料費	0	0	
飲食費	700		スタッフ・ボランティアお茶10本
スタッフ費	59,920		ボランティアお礼クオカード(4名分) 3,920円、 スタッフ通信・諸経費 3,000円×2名、 5,000円×2名、14,000円×2名、 ブログ掲載通信費(12回分) 12,000円
合 計	198,955	117,476	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025年 2月2日

市川市長 様

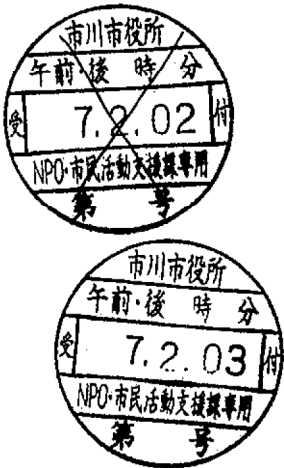
団 体 名 NPO法人市川にオオムラサキを生息させる会
(団体番号 37)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	268,571円
(2) 補助対象経費総額	162,402円
(3) 補助金交付決定額	81,201円
(4) 補助金交付概算払額	81,201円



(5) 実施報告

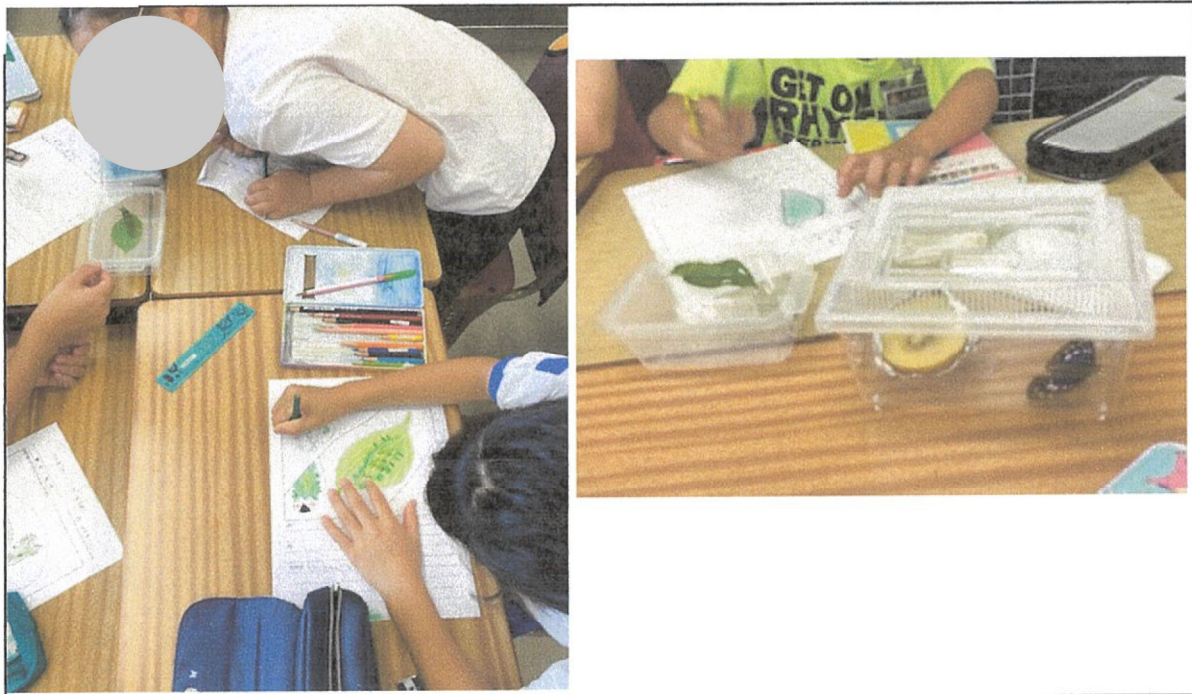
補助決定事業の名称	オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ○市川市教育委員会の推薦をいただき、本年も市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校がオオムラサキの飼育協力校に参加していただいた。4月中にオオムラサキの越冬幼虫を中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園に各10頭ずつ、市川自然博物館に30頭ずつ配布した。 ○市川市校長会に配布希望を取り、新たに菅野小、塩焼小、鶴指小、国分小、大野小に各5頭とエノキ2本ずつ配布した。 ○6月には各学校の3年生児童を対象にオオムラサキの幼虫の観察を中心とした学習の場を提供することができた。 ○市川駅南口図書館のご協力をいただき、6月21日～23日の3日間「オオムラサキ観察会」を開催する事が出来た。672人の市民の方の参加を得た。 ○はじめて30頭以上のオオムラサキの羽化に成功した。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	○年2回、「オオムラサキ通信」を市川市立中山小学校、若宮小学校、大柏小学校、若宮幼稚園、富貴島幼稚園には全児童・園児及び職員と保護者に配布した。また、本会支援者へも配布した。 ○新規会員募集パンフレットを昨年6月に市川駅周辺に3,000部、本年1月に3,000部+4,500部ずつ配布した。 ○小学校3校の3年生児童を対象に、「オオムラサキだより」を発行した。 ○「オオムラサキ通信」の発行に伴い、本会ホームページを更新した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ○学校教育との連携を進めることで、オオムラサキと児童・幼児の関わりが少しずつ広がり深まりを見せ始めている。本年度は、中山小・若宮小・大柏小以外に校長会を通して希望のあった菅野小、塩焼小、鶴指小、国分小、大野小にもオオムラサキの幼虫を配布した。 ○オオムラサキを日常的に観察することで、オオムラサキに対する児童の意識も深まったと思われる。オオムラサキの学習の場面では、目の前で幼虫を観察する事ができた。子どもたちからは、本物のオオムラサキに接した驚きと喜びの声を聞くことができた。 ○「オオムラサキ観察会」では、多くの市民の方に観察していただいた。「去年も今頃やっていましたね。」等とお声がけしていただいたり、「お隣の友人から聞いてきました。」など、少しずつ来て下さる方の広がり深まりを感じる事が出来た。保育園児、地域在住のご高齢の方、中学生、外国人など、実に様々な方にご覧いただき、興味と関心を持っていた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ○中山小学校の飼育舎を中心として、市川市内での産卵ー成長ー羽化のサイクルの実現を目指していきたい。今年度ははじめて30頭以上の成虫を羽化させることができたが、飼育環境に不備があり、自然交配までにはいかなかった。次年度以降もさらに環境整備を進めていく必要である。 また、オオムラサキ関係の他の保護団体等との連携を図っていきたい。 ○会員尾高齢化に伴い、会員数が減少傾向にある。新聞折込や観察会などを通して、あらたな支援会員を増やしていく必要がある。 また、有志によるオオムラサキの飼育の輪を広げていきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 小学校におけるオオムラサキの学習

撮影年月日 : 2024 6.14大柏小学校にて



タイトル : オオムラサキ観察会 (市川駅南図書館)

撮影年月日 : 2023 6月28日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: オオムラサキの飼育活動を通しての自然環境保全啓発活動

1【収 入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入		
寄附金収入	55,000	
補助金収入	81,201	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	132,370	団体の本会計より充当
補助金返金		
合 計	268,571	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり(なし)
交通費	16,460	16,220	幼虫等調達のための交通費(町田(3,900円) 市内幼稚園, 小学校, 博物館交通費(9,200円) 観察会交通費(3,360円)
消耗品費	101,262	59,150	エノキ20本(8,520円) 防鳥ネット(3,964円) 多目的ロープ(3,470円) 植木鉢・洗濯ネット(2,205円) 収穫ネット(4,860円) 植木鉢・培養土(3,948円) オオムラサキ幼虫代(15,400円) ARテープ(6,039円) 飼育舎用ネット(126,50円+12100円) カラーボックス(2,178円) イレクターパイプ(259,28円)
印刷製本費	44,821	41,352	オオムラサキ通信15号(6,437円) 支援会員募集パンフ5月(7,777円) オオムラサキ便り(1,838円) オオムラサキ通信16号(8,579円) 支援会員募集パンフ1月1(9,354円 10,836円)
通信運搬費	16,420	1,680	84円切手<50枚, 50枚>(8,400円) 63円ハガキ40枚(2,520円) 110円切手50枚(5,500円)
保険料			
使用料及び賃借料			
原材料費			
その他経費	89,608	44,000	会員募集ポスティング<5月・1月>(13,112円*2, 19,624円) 総会費用(2,700円) 観察会反省会(22,060円) 観察会担当者昼食代(9,000円) 管理費(10,000円)
合 計	268,571	162,402	

※ 領収書(原本)を添付してください。